



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月30日

上場会社名 田岡化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4113 URL https://www.taoka-chem.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 佐々木 康彰
 問合せ先責任者 (役職名) 事業支援室部長 (氏名) 勝本 泰仁 (TEL) 06-7639-7400
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	22,857	△6.3	520	△77.1	534	△77.0	360	△78.5
2022年3月期第3四半期	24,406	4.0	2,267	△20.6	2,329	△19.5	1,674	△17.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 346百万円(△79.1%) 2022年3月期第3四半期 1,661百万円(△17.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	25.16	—
2022年3月期第3四半期	116.85	—

(注) 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	33,798	16,579	49.1
2022年3月期	32,417	16,749	51.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 16,579百万円 2022年3月期 16,749百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	90.00	—	18.00	—
2023年3月期	—	18.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	9.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。株式分割を考慮した場合の2022年3月期の1株当たり第2四半期末配当金は18円00銭となり、1株当たり年間配当金は36円00銭となります。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	△4.2	500	△81.5	500	△82.1	300	△85.5	20.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	14,440,000株	2022年3月期	14,440,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	111,140株	2022年3月期	111,140株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	14,328,860株	2022年3月期3Q	14,328,860株
------------	-------------	------------	-------------

(注)当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報および合理的であると判断した一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は228億57百万円となり、前年同四半期連結累計期間（以下、「前年同四半期」）に比べて15億49百万円の減収となりました。

損益面におきましては、営業利益は5億20百万円（前年同四半期比17億47百万円減）、経常利益は5億34百万円（同17億94百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億60百万円（同13億13百万円減）となりました。

[セグメント別の売上高の概況]

区 分	前年同四半期		当第3四半期 連結累計期間		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密化学品事業部	13,696	56.1	10,465	45.7	△3,230	△23.6
機能材事業部	2,926	12.0	2,485	10.9	△440	△15.1
樹脂添加剤事業部	7,354	30.1	9,456	41.4	2,101	28.6
化学工業セグメント	23,977	98.2	22,407	98.0	△1,569	△6.5
その他	429	1.8	449	2.0	20	4.8
合 計	24,406	100.0	22,857	100.0	△1,549	△6.3

(注)第1四半期より精密化学品部門は精密化学品事業部、機能材部門は機能材事業部となり、機能樹脂部門および化成品部門は樹脂添加剤事業部へと統合しております。前年同四半期につきましては、変更後の数値で比較しております。

<化学工業セグメント>

当セグメントの売上高は、224億7百万円となり、前年同四半期と比べて15億69百万円の減収となりました。

(精密化学品事業部)

原料価格の高騰を受けて販売価格は上昇したものの、樹脂原料の出荷数量が減少したため、売上高は104億65百万円となり、前年同四半期と比べて32億30百万円の減収となりました。

(機能材事業部)

接着剤およびゴム薬品ともに出荷数量が減少したことにより、売上高は24億85百万円となり、前年同四半期と比べて4億40百万円の減収となりました。

(樹脂添加剤事業部)

可塑剤の出荷数量は減少したものの、ワニスでの中国での販売開始や、原料価格の高騰に伴う販売価格の上昇の結果、売上高は94億56百万円となり、前年同四半期と比べて21億1百万円の増収となりました。

<その他>

化学分析受託事業の売上高は、土壌調査は減少したものの、石綿分析や危険物判定などで増加したため、4億49百万円となり、前年同四半期と比べて20百万円の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて12億77百万円増加し、191億14百万円となりました。これは、その他に含まれる未収入金の減少を、原材料及び貯蔵品や売掛金の増加が上回ったことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて1億3百万円増加し、146億84百万円となりました。これは、主として新多目的プラント(N-2)の設備追加取得による増加です。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産額は337億98百万円となり、前連結会計年度末と比べて13億81百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は、短期借入金が増加したものの、設備関係未払金や買掛金が減少したことから、前連結会計年度末と比べて60百万円減少し、121億1百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて16億11百万円増加し、51億16百万円となりました。これは、主として長期借入金の増加によるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べて15億50百万円増加し、172億18百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産額は、前連結会計年度末と比べて1億69百万円減少し、165億79百万円となりました。これは、主として利益剰余金において配当の実施による減少が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上を上回ったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年10月27日公表数値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	718,630	1,122,738
受取手形	145,757	182,470
売掛金	5,923,035	6,537,906
商品及び製品	6,841,634	6,635,569
仕掛品	294,728	22,913
原材料及び貯蔵品	2,899,348	4,271,023
その他	1,013,877	342,145
流動資産合計	17,837,013	19,114,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,239,077	9,311,533
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,733,755	△5,821,831
建物及び構築物(純額)	3,505,321	3,489,701
機械装置及び運搬具	22,529,560	23,021,402
減価償却累計額及び減損損失累計額	△19,223,707	△19,641,292
機械装置及び運搬具(純額)	3,305,852	3,380,109
建設仮勘定	4,300,548	4,474,289
その他	4,040,261	4,159,838
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,915,584	△2,069,979
その他(純額)	2,124,676	2,089,859
有形固定資産合計	13,236,399	13,433,959
無形固定資産	60,421	56,535
投資その他の資産		
その他	1,284,642	1,194,222
貸倒引当金	△700	△700
投資その他の資産合計	1,283,942	1,193,522
固定資産合計	14,580,764	14,684,017
資産合計	32,417,778	33,798,785

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,640,679	5,648,339
短期借入金	8,150	2,966,046
1年内返済予定の長期借入金	320,000	620,000
未払法人税等	189,981	27,173
賞与引当金	508,155	252,738
設備関係未払金	3,682,326	1,157,535
その他	813,369	1,430,110
流動負債合計	12,162,662	12,101,944
固定負債		
長期借入金	480,000	2,265,000
退職給付に係る負債	2,627,260	2,620,093
その他	398,611	231,791
固定負債合計	3,505,872	5,116,885
負債合計	15,668,534	17,218,830
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,572,000	1,572,000
資本剰余金	1,008,755	1,008,755
利益剰余金	14,095,496	13,940,192
自己株式	△39,513	△39,513
株主資本合計	16,636,739	16,481,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,011	30,795
繰延ヘッジ損益	-	△14,259
為替換算調整勘定	47,360	72,672
退職給付に係る調整累計額	19,131	9,311
その他の包括利益累計額合計	112,503	98,520
純資産合計	16,749,243	16,579,954
負債純資産合計	32,417,778	33,798,785

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	24,406,239	22,857,007
売上原価	19,515,923	19,652,205
売上総利益	4,890,316	3,204,802
販売費及び一般管理費	2,622,988	2,684,742
営業利益	2,267,328	520,060
営業外収益		
受取利息	2,955	4,028
受取配当金	21,353	21,797
不用品処分益	11,681	16,879
その他	28,480	12,668
営業外収益合計	64,471	55,373
営業外費用		
支払利息	2,077	4,838
為替差損	-	35,434
その他	7	210
営業外費用合計	2,084	40,482
経常利益	2,329,714	534,951
特別利益		
投資有価証券売却益	-	26,421
特別利益合計	-	26,421
特別損失		
固定資産除却損	7,526	5,592
特別損失合計	7,526	5,592
税金等調整前四半期純利益	2,322,187	555,780
法人税、住民税及び事業税	547,495	85,240
法人税等調整額	100,337	110,005
法人税等合計	647,832	195,245
四半期純利益	1,674,355	360,534
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,674,355	360,534

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,674,355	360,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,034	△15,216
繰延ヘッジ損益	-	△14,259
為替換算調整勘定	2,365	25,311
退職給付に係る調整額	△14,396	△9,819
その他の包括利益合計	△13,065	△13,983
四半期包括利益	1,661,290	346,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,661,290	346,550
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差額の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因した原価差異が発生し、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれる場合には、当該原価差異を繰り延べております。